

第4学年「算数」の学力向上のための方策

児童の実態（成果と課題の分析）

- 成果**
- 基礎的な計算問題の正答率は7割近い正答率になった。
 - 時刻については概ね理解できている。
- 課題**
- ▼ 分数のひき算の誤答が多い。
 - ▼ 時刻については理解しているが、時間についての理解が不十分である。
 - ▼ 図形に関する理解が不十分で作図が苦手である。

指導の重点（身に付けさせたい力）

- ◇ 分数や少数、がい数、の概念を理解して正確に計算する力。
- ◇ 垂直、平行、面積の求め方、直方体や立方体について理解し、正しく作図する力。
- ◇ 算数の問題について、見通しをもって、筋道を立てて自分の考えをもつ力。
- ◇ 数量や図形の学習に粘り強く取り組み、主体的に生活や学習に生かそうとする力。

具体的な改善策

主体的に学習に取り組む態度のための工夫

- 計算タイムを利用して前学年の内容の理解を深める。

言語活動の工夫

- どの児童も自分の考え話せるように、ペア、小グループ、全体と場の工夫をする。

ICT活用の工夫

- デジタル教科書を使用したり、実物投影機を使ったりして、作図の手順を確認し定着を図る。
- タブレットを活用して計算の習熟を図る。

課題解決力育成の工夫

- 自力解決の場面で、前時までのノートを見返し、既習事項で活用できることを明らかにする。

達成目標

- 小数、分数の計算が8割程度正確にできる。
- 時間問題を、数直線を活用して考えることができる。
- 用具の使い方に慣れ正しく作図ができる。